



特集 6 あなたが住む街からの情報発信への取組

(医療・福祉の充実－4)

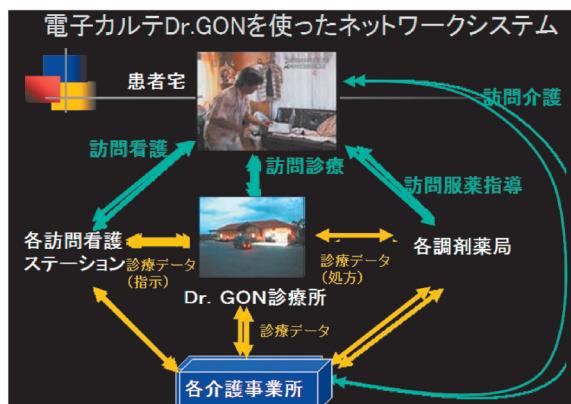
「電子カルテシステム『Dr. GON(ドクター・ゴン)』」 (沖縄県宮古島市) <http://www.drgon.net/>

【概要】

沖縄県宮古島市の鳥伝白川会が使用している「電子カルテシステム『Dr. GON(ドクター・ゴン)』」は、訪問診療の現場での医師や看護師、薬剤師との間での情報の共有を目指して医師自らが開発・運用しているシステムであり、少子高齢化が急速に進んでいる離島部における訪問診療の現場で活用されている。

【コラム】

大小8つの島が集まる宮古列島では、宮古島の一部を除き、いずれの島・地域でも少子高齢化が急速に進みつつあります。とりわけ、大神島では、人口が30名程度に落ち込み、平均年齢も70歳を越えています。島内には診療所がないため、島民は、船やバスを乗り継いで、宮古島市内(平良)の県立病院や薬局に診療や常用薬の受け取りに出かけざるを得ません。そのため、診療所では、医師、薬剤師、看護師間の連携をネットの活用によって保ちながら、それぞれが1ないし2週間ごとに大神島を訪れ、島民の健康状態のチェックや診療、訪問看護、投薬指導等を行っています。訪問診療では、正確かつ迅速な申し送りのため、各医師が入力したカルテ情報を即時に同期させることができます。現時点では、大神島には全島をカバーする有線ブロードバンド回線がないため、チーム内の医師自らが加入している3.5G携帯インターネットとともにアドホック・ネットワークを構築し、各自が携行しているノートPCで必要な情報を共有しています。こうした取り組みにより、島民からは、「今までのように時間をかけて診察や常用薬の受け取りに行かなくてもすむようになり、健康に関する不安も軽減された」という声が住民から多く寄せられています。



<http://www.drgon.net/newproducts.files/>

同システムでは、診療所サーバにあるカルテ情報データベースにVPN接続によってオンライン・アクセスが可能ですが、同島は3.5Gの提供エリア外であるため、現時点では通信が不安定であり、安全のため、オフラインでカルテ情報をアップデートし、本島に戻ってからデータベースとシンクロするという方法をとっています。ブロードバンドゼロ地域解消によって、同島にもブロードバンドが提供されれば、カルテ情報をPCに入れて携行せずに済むようになり、より効果的な医療の提供が期待できます。

(問い合わせ先)

医療法人 鳥伝白川会
Dr. GON診療所
TEL:0980-76-2788